



2021年6月24日放送

日薬アワー 薬剤師から一般の方々に向けた新型コロナウイルスワクチンに関する FAQ

日本薬剤師会
常務理事 橋場 元

新型コロナウイルスは日本のみならず世界中で猛威を振るい、2021年5月末時点で感染者数は1億7000万人を超え、死者も370万人を超えるという事態となり、私たちの健康を脅かしています。

新型コロナウイルス感染症に対しては、いまだ根本的な治療薬が見つからず、地域で感染者が急増すると医療体制がひっ迫するなど、社会生活への影響が多大であることは皆様ご存じのとおりです。それゆえに、新型コロナワクチン接種はこの感染症を終息させる手段として欠かすことのできないものであり、多くの国民に新型コロナワクチン接種を受けていただく必要があります。そのためには、国民の方々の新型コロナワクチンに対する信頼感・安心感が重要な要因となります。

日本における新型コロナワクチン接種については、当初、世界に比べて遅れていたものの、政府をはじめ、自治体、および医療関係者などの努力もあり、かなり進んできております。これからもますます進んでいくものと思われまます。

薬剤師もワクチン接種に関しては、ワクチンの希釈・充填、集団接種会場での医師による予診のサポート、ワクチン接種に際しての注意点などの説明・予診票への記入のサポート、ワクチンの配送など各地域で様々な活動がなされています。

一方、マスメディア、インターネットなどを通じて、新型コロナウイルスやワクチンに関する様々な情報もたらされるものの、医療、感染症、ワクチン製剤などに対する知識など個々の国民のリテラシーの違いもあり、国民には、ワクチンに対する不安感が十分に払拭されていない様子もうかがえます。

しかも新型コロナウイルスに対するワクチンは mRNA ワクチン、ウイルスベクターワクチン、DNA ワクチンなど、今までにない新たな技術で開発されたタイプのものが多いです。本来であれば、厚生労働省を中心に慎重な審査に基づいて、有効性、安全性がしっかりと確認されたのち、国民に対して提供されるものでありますが、日本国内におけるワクチン接種が急がれ、ファイザー社製のワクチン「コミナティ筋注」は日本での審査を簡略化する特例承認の制度が適用され、承認されました。またモデルナ社、アストラゼネカ社製のワクチン、その他、国産メーカーも含め順次各メーカーの新型コロナワクチンが承認されることが予想されました。

このような背景から、薬剤師・薬局に対し、地域住民から新型コロナワクチンに対する数多くの問い合わせがあるであろうと日本薬剤師会では考えました。

また、集団接種会場などでの薬剤師の役割として、予診に対するサポートを各自治体から依頼されるケースも目立っており、その際に接種会場に来た地域住民から質問を受けることも想定されました。

そこで、日本薬剤師会では、薬局やワクチン接種会場などで、薬剤師が最新で根拠のある情報を基に国民にできる限り正確に説明するためのツールとして、「薬剤師から一般の方々に向けた新型コロナウイルスワクチンに関する FAQ」を作成しました。

当会では日本で新型コロナウイルスの陽性者がまだ 10 数例の報告であった 2020 年 2 月に当会会長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、この対策本部を中心として、厚生労働省と密接な連携の下、各都道府県薬剤師会や関係団体などと連絡を取り合い、具体的な対応策について検討し、取り組みを実施してまいりました。

さらに、2021 年 1 月には日本での新型コロナワクチンの承認にめどが立ち、具体的なワクチン接種方法について政府や自治体が検討を進めていることに対応するために、対策本部を 3 つの班に組織改編し、ワクチンについては第 2 班が医療従事者、一般国民へのワクチン接種現場における薬剤師の協力について、国（健康局など）や、都道府県薬剤師会、日本医師会、日本病院薬剤師会などの他団体との調整、実施を行い、第 3 班が一般国民へのワクチンの有効性、安全性、注意事項など医薬品情報の啓発、提供について、国（医薬・生活衛生局、健康局）、日本医師会、都道府県薬剤師会、他団体（日本病院薬剤師会など）との調整、実施を行う体制としました。

本 FAQ はこの第 3 班の中に FAQ 対策チームを設置し、このチームが中心となり、企画、検討、作成、更新を行っています。また外部の感染症に詳しい病院薬剤師の皆様にもご意見をいただいております。

本 FAQ の作成にあたり最も気を付けた点としては、国民にできるだけわかりやすい平易

な言葉を用いた文章を心掛けました。また世の中に氾濫している情報に惑わされていると考えられる国民に正しい理解を行っていただくために、根拠となるデータについては、国内、国外ともオーソライズされたデータを使用しています。

本 FAQ の構成は「質問の例」、「質問に対する一般向け説明の例」、「その説明のための根拠データ」、「データのもととなる資料」、となっています。

「質問の例」については国民が疑問に思っているだろうと想定した質問について記載し、ワクチンの性質、安全性、予想される副反応、接種を受ける際の注意点、接種可能な方、できない方、など多岐にわたる種類の質問を設けました。

「一般向け説明の例」は薬剤師が薬局やワクチン接種会場などで国民から質問を受けた際の回答を例として示しました。先ほど申しあげました通り、なるべく国民に分かりやすく、平易な文章を心掛けておりますが、薬剤師の皆様には、現場においてさらに、国民のリテラシーの違いに配慮するとともに、徒に不安を招くことのないよう、また、十分に理解できるよう、本 FAQ に示した回答の主旨を踏まえた説明を行うことに留意していただきたいと思っております。

「その説明のための根拠データ」は薬剤師の皆様が国民に説明するための根拠となるデータおよび内容を示しました。ここではできるだけ、厚生労働省やアメリカ CDC、イギリス公衆衛生庁など各国の公的機関がオーソライズしているもの中心に用いております。なお、新型コロナワクチンに関するこれらの情報は、日々アップデートされるため、本 FAQ をご利用される際には薬剤師の皆様も最新の情報を確認して頂けると有難いです。

最後にワクチン接種に関しては個人の自由意思で行われるということが前提ではありますが、新型コロナウイルス感染症を終息に向かわせるには、必要不可欠な方策であります。ただ、ワクチン接種が進み始めた現状においても、不安を口にされる国民もまだまだいらっしゃると聞き及んでいます。ワクチン接種に反対する方々もいらっしゃいます。

薬剤師は薬局、集団接種会場その他数多くの場面で広く国民に接する機会があります。その機会を通じて説明を行い、多くの国民がワクチンについて十分に学び、ワクチン接種が感染拡大予防の効果的な手段であることを理解していただき、その上で、ワクチン接種を受けていただくことが大切です。国民と向き合う薬剤師には、このような認識に立って丁寧な説明をお願いしたいと思います。

そしてこのことは薬剤師法第 1 条にあります「薬剤師は、その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」にまさしく当てはまる大切な業務です。

そのために本 FAQ が活用されますと幸いです。

そして人類が新型コロナウイルス感染症を克服することを祈っております。